

大樹の礎

Taiju no Ishizue

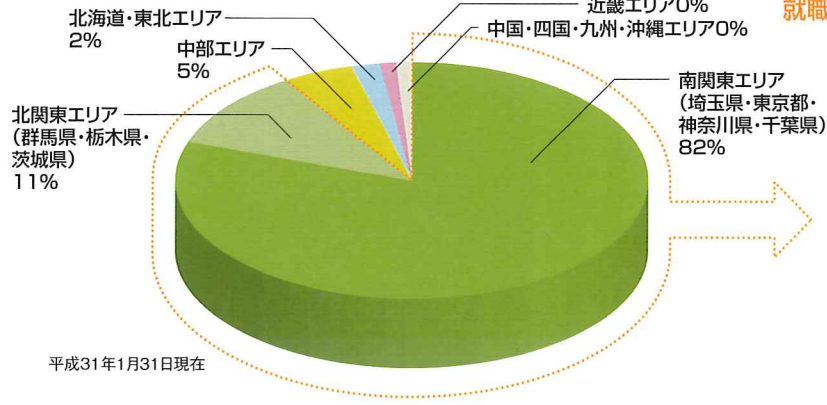
第23号 2019 3.22
 発行者：学校法人 城西 医療 学園
 日本医療科学大学
 Nihon Institute of Medical Science
 〒350-0435
 埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276
 TEL.049-294-9000
 URL http://www.nims.ac.jp

平成30年度 就職内定先の都道府県別人数とUターン割合
 平成31年1月31日現在

都道府県	4年生の在籍人数	内定先(人数)	Uターン(%)
北海道	2	0	0
青森	4	0	0
岩手	1	0	0
宮城	7	1	14.3
秋田	3	0	0
山形	5	0	0
福島	14	3	21.4
埼玉	178	106	43.8
東京	30	49	43.3
千葉	2	8	50.0
神奈川	1	10	0
群馬	27	8	25.9
栃木	11	8	36.4
茨城	20	7	30.0
新潟	12	0	0
富山	1	0	0
山梨	5	3	20.0
長野	16	5	31.3
静岡	7	3	42.9
愛知	1	0	0
沖縄	4	0	0
合計	351	211	平均34.8

※4年生の在籍人数、内定先がある都道府県のみ表記

平成30年度 就職内定先割合(全国エリア別)



平成30年度 就職内定状況(月別延べ人数) 平成31年1月31日現在

	~7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
R	0	2	3	12	8	14	4	43
PT	0	2	9	23	22	3	0	59
OT	0	4	2	8	7	3	1	25
N	55	8	10	2	1	0	0	76
ME	0	1	1	0	1	7	4	14
合計	55	17	25	45	39	27	9	217

理想の就職につながる環境づくりを目指して

「卒業生が元気に活躍しているので、次年度も日本医療科学大学の学生を採用したい」。本学主催の求人説明会に参加された病院施設の採用担当の方々からは、このような声がよく寄せられます。本学では毎年多くの卒業生を輩出しており、その活躍ぶりが病院施設から高く評価され、確かな就職実績に結びついています。今年度の内定獲得状況も順調に推移しており、埼玉県の内定者は1000人を超え、全体の約50%を占めました。本学ではボランティア活動等で埼玉県を中心に地域連携や地域貢献を積極的に推進しています。活動を通じて埼玉に親しみを感じ、卒業後も医療従事者として地元地域で活躍していることと意欲を持つ学生も増えていきます。本学では、就職活動はもちろん学内外でのさまざまな活動を通じて、理想の就職につながる環境を目指しています。

Finding Employment

平成30年度の主な社会貢献・学内外活動

毛呂山町立光山小学校でよさこいサークルが演舞を披露

本学と同じ毛呂山町に位置する町立光山小学校の全校集会で、本学のよさこいサークル「日本医療連」が演舞を披露。児童と触れ合い、世代を越えた地域交流を図りました。



大喜びの児童たち

切り花レクリエーションの体験型授業をOTで実施

徳永千尋教授のアドバイスにより、実際に作業療法の現場でリハビリに取り入れられている切り花レクリエーション『小さな花畑』の体験型授業をOTで実施しました。



楽しむリハビリを体験

日本作業療法士協会を訪問 協会長の講話を拝聴

OT4年の34名と教員2名が一般社団法人日本作業療法士協会を訪問。協会の働きや機能、役割を学び、中村春基協会長の講話を拝聴して、作業療法士を目指す意識を高めました。



協会長から激励された様子

医療機器メーカーの工場をME3年が見学

ME3年が医療機器メーカーの日本光電富岡株式会社を訪問。工場見学を通じて、AEDや生体情報モニター等、さまざまな医療機器について学びました。



知識を深める貴重な経験に

スポーツ大会に参加し選手のコンディショニングをケア

本学学生と教員が「第73回埼玉県新人陸上競技選手権大会」「男子71回・女子27回関東高等学校駅伝競走大会」に参加。両大会ともコンディショニングブースを担当し、大会に参加した選手のコンディショニングのケアに努めました。「丁寧に対応していただき、大会に向け良い状態ができた」「体のケアだけでなく、心も落ち着いた」等の感想をいただきました。



「新人陸上競技選手権大会」の本学のコンディショニングブース



「関東高等学校駅伝競走大会」で選手をケアしている様子

平成30年度の国際感覚を養った主な取り組み

英会話を実践できる English Salonを開催

城西高等学校英語科の高橋先生とJosh先生を本学に迎え、英語で交流できるEnglish Salonを開催。「もっと英語を話せるようになりたい」等前向きな感想が寄せられました。



英語を使える絶好の機会に

予選を通過して英語のスピーチコンテストに出場

『英語でニッポンを語ろう!コンテスト in 川越』の一般部門に熊野すみれさん(N3年)がファイナリストとして出場。英語のスピーチを披露しました。



英語でスピーチする熊野さん

中臺科技大学の国際学術会議に参加

本学と学術協定を締結している台湾の中臺科技大学で開催された国際学術会議に、学生5名、教員3名、卒業生1名が参加。研究発表や同大学の講義聴講等を行いました。



国際学術会議での研究発表の様子

昨年4月に開催された求人説明会の様子



求人説明会の 早期開催で 求人件数増加

平成30年度 都道府県別求人実績 (病院・施設数、求人数)

		平成31年1月31日現在			
病院・施設 (件数)	求人数 (人数)	病院・施設 (件数)	求人数 (人数)		
北海道	67	1,059	滋賀	11	89
青森	64	387	京都	36	270
岩手	49	291	大阪	145	765
宮城	80	461	兵庫	103	1,121
秋田	38	172	奈良	8	62
山形	73	294	和歌山	9	28
福島	115	351	鳥取	8	14
茨城	127	526	島根	9	14
栃木	105	697	岡山	5	130
群馬	144	436	広島	18	55
埼玉	604	3,279	山口	20	95
千葉	376	2,490	徳島	19	38
東京	679	5,154	香川	3	3
神奈川	422	2,773	愛媛	15	112
新潟	53	432	高知	11	21
富山	4	5	福岡	17	167
石川	10	28	佐賀	0	0
福井	7	37	長崎	8	25
山梨	60	234	熊本	10	33
長野	74	304	大分	1	5
岐阜	5	8	宮崎	3	4
静岡	161	719	鹿児島	9	33
愛知	69	175	沖縄	5	8
三重	18	84	合計	3,877	23,488



工藤昌弘就職部長

「学生と保護者の皆様 動の質の向上にもつながっています。また、学生の就職活動のスタート時期も早まったことで、就職活動の質の向上にもつながっています。」

「その思いに答えるべく、本学では1年次から就職支援するさまざまな取り組みを行い、納得して働くことのできる就職先を自分目線で探せる環境を作っています。今後も、学生の環境・様子ごと、病院・施設の採用計画を的確に捉え、教職員一丸となつて努めていきます。」(前出・同)

今年度の求人件数は順調に推移し、新規求人数が大幅に増えました。それにより、学生の就職の選択の幅が広がりました。多くの卒業生の活躍や就職支援センターの取り組み等、その要因にはさまざまなものが挙げられますが、特に今年度は、本学主催の求人説明会の開催時期を従来の8月から4月へ早期化した効果が考えられます。

「病院・施設が採用計画を立て始める時期から採用担当の方々と連絡を取ることで、病院・施設の求人説明会への参加率と、本学学生の採用意欲がともに高まり、本学は安定して高い水準で求人が得られています。」(工藤昌弘就職部長)



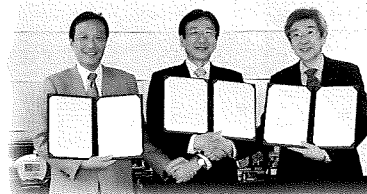
昨年10月に開催された父母懇談会での座談会「就職最前線」の様子

平成30年度の大学連携の主な取り組み

城西大学、明海大学と3大学連携協定を締結

本学は城西大学、明海大学と連携協力協定を締結しました。「共同の研究プロジェクト」「教職員の交流」「学生の交流」「施設の相互利用」等で連携・協力を推進します。

右から城西大学の白幡晶学長、明海大学の安井利一学長、本学の藤原博明学長



城西大学坂戸キャンパスのバリアフリーについて調査

連携協力協定の締結校である城西大学坂戸キャンパスのバリアフリーについて、OT3年が調査。車いすに乗ってバリアフリーを体験して、その結果を発表しました。

発表会で城西大学と意見交換



経理課のスタッフ



経理課 受付

経理課では学生の皆さんと直接接することはあまりありませんが、保護者の皆様には年に2回、授業料等の案内を送付させていただいてる部署です。自称「少数精鋭」で、学生の皆さんの大学生活がより充実したものにすべく、日々お金に目を光らせています。

第2回 信頼の経理課

本学では「国家資格の取得」と「充実した大学生活」の両立を目指し、教員は元より事務局職員も様々な面でサポートに努めています。そんな事務局の中でも今回は、経理課の現場レポートをお届けいたします。

事務局の紹介